

第2回 赤穂市民病院経営改善検証委員会 次第

1 日 時：令和4年12月15日（木）14：00～16：00

2 場 所：神戸市教育会館 404会議室

3 議 事

(1) 開会

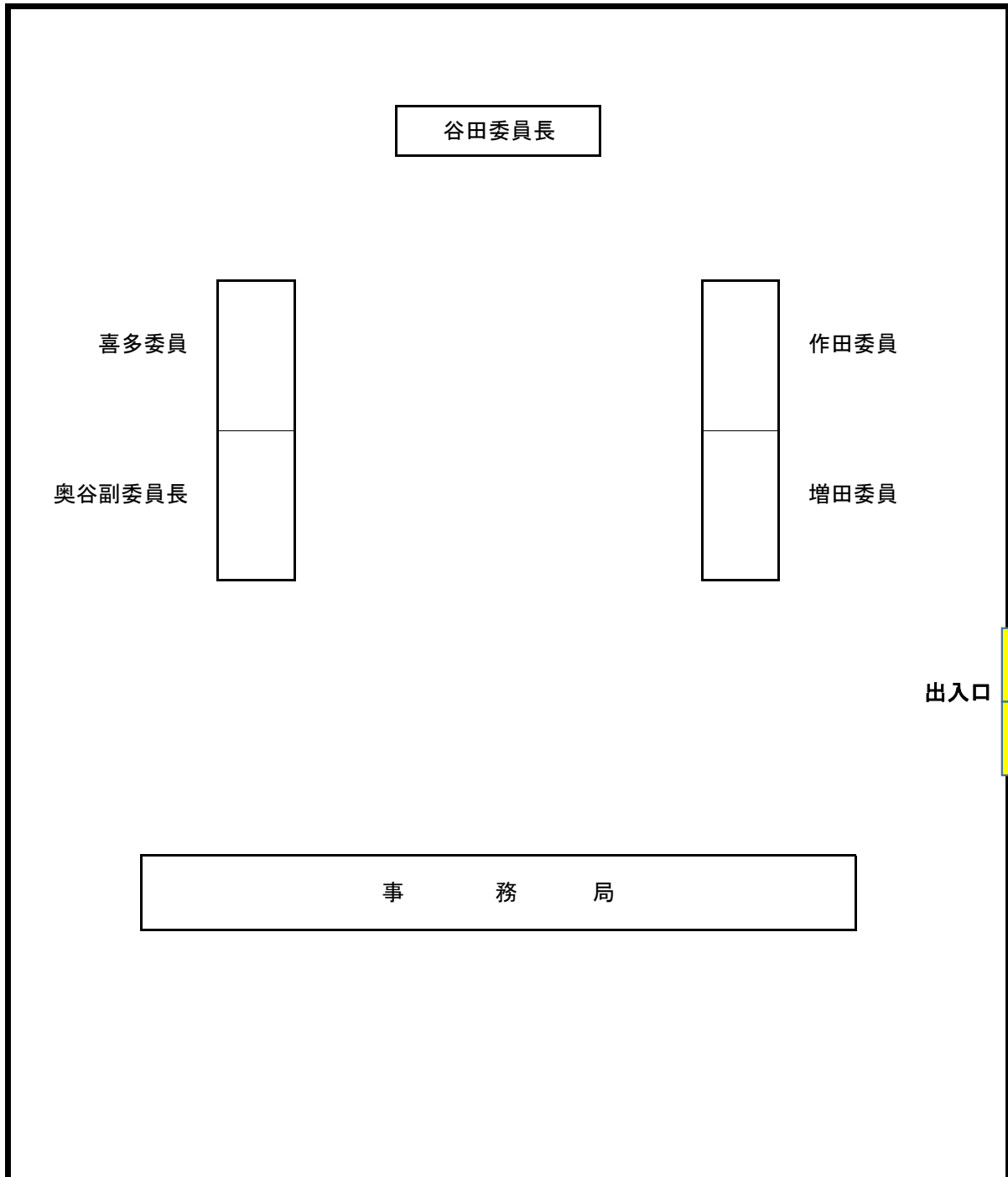
(2) 協議

1. 上半期の経営状況について

2. その他

(3) その他

第2回 赤穂市民病院経営改善検証委員会 配席表



令和4年度上半期経営状況について

1 業務の状況(上半期)

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期
入院	延患者数	R 4	7,290	7,688	7,011	7,997	7,724	6,802	44,512
		R 2	6,672	6,531	6,723	7,399	8,032	6,885	42,242
		増減	618	1,157	288	598	▲308	▲83	2,270
	一日平均患者数	R 4	243.0	248.0	233.7	258.0	249.2	226.7	243.2
		R 2	222.4	210.7	224.1	238.7	259.1	229.5	230.8
		増減	20.6	37.3	9.6	19.3	▲9.9	▲2.8	12.4
診療単価(円)	R 4	63,394	59,096	56,622	58,175	59,728	60,457	59,563	
	R 2	55,949	58,576	54,340	53,679	54,700	58,699	55,912	
	増減	7,445	520	2,282	4,496	5,028	1,758	3,651	
外来	延患者数	R 4	11,927	12,218	12,759	12,603	13,627	12,350	75,484
		R 2	11,985	10,886	12,813	13,952	12,995	12,923	75,554
		増減	▲58	1,332	▲54	▲1,349	632	▲573	▲70
	一日平均患者数	R 4	596.4	643.1	580.0	630.2	619.4	617.5	613.7
		R 2	570.7	604.8	582.4	664.4	649.8	646.2	619.3
		増減	25.7	38.3	▲2.4	▲34.2	▲30.4	▲28.7	▲5.6
	診療単価(円)	R 4	16,267	16,175	14,997	15,865	16,268	16,243	15,966
		R 2	14,135	14,405	13,383	14,011	13,779	13,726	13,892
		増減	2,132	1,770	1,614	1,854	2,489	2,517	2,074

2 経営の状況(上半期)

(千円)

科 目	年度	第一四半期			第二四半期			上半期
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
病院事業収益(A) (ア)+(オ)	R 4	689,131	684,422	947,278	702,162	730,304	678,713	4,432,010
	R 2	569,826	565,981	572,002	628,364	656,299	676,164	3,668,636
	増減	119,305	118,441	375,276	73,798	74,005	2,549	763,374
病院医業収益(ア) (イ)+(ウ)+(エ)	R 4	675,423	671,550	934,324	689,836	716,930	636,989	4,325,052
	R 2	556,529	554,298	558,365	615,006	643,505	605,053	3,532,756
	増減	118,894	117,252	375,959	74,830	73,425	31,936	792,296
入院収益(イ)	R 4	462,140	454,330	396,980	465,227	461,340	411,229	2,651,246
	R 2	373,295	382,559	365,330	397,168	439,353	404,140	2,361,845
	増減	88,845	71,771	31,650	68,059	21,987	7,089	289,401
外来収益(ウ)	R 4	194,015	197,627	191,347	199,944	221,682	200,598	1,205,213
	R 2	169,408	156,817	171,472	195,481	179,064	177,387	1,049,629
	増減	24,607	40,810	19,875	4,463	42,618	23,211	155,584
その他(エ)	R 4	19,268	19,593	345,997	24,665	33,908	25,162	468,593
	R 2	13,826	14,922	21,563	22,357	25,088	23,526	121,282
	増減	5,442	4,671	324,434	2,308	8,820	1,636	347,311
その他の収益(オ)	R 4	13,708	12,872	12,954	12,326	13,374	41,724	106,958
	R 2	13,297	11,683	13,637	13,358	12,794	71,111	135,880
	増減	411	1,189	▲683	▲1,032	580	▲29,387	▲28,922

科 目	年度	第一四半期			第二四半期			上半期
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
病院事業費用(B) (カ)+(コ)	R 4	822,054	822,059	822,059	822,059	822,059	822,059	4,932,349
	R 2	771,914	771,914	771,914	771,914	771,914	771,914	4,631,484
	増減	50,140	50,145	50,145	50,145	50,145	50,145	300,865
病院医業費用(カ) (キ)+(ク)+(ケ)	R 4	762,195	762,205	762,205	762,205	762,205	762,205	4,573,220
	R 2	700,023	700,022	700,022	700,022	700,022	700,022	4,200,133
	増減	62,172	62,183	62,183	62,183	62,183	62,183	373,087
給与費(キ)	R 4	349,101	349,106	349,106	349,106	349,106	349,106	2,094,631
	R 2	336,420	336,420	336,420	336,420	336,420	336,420	2,018,520
	増減	12,681	12,686	12,686	12,686	12,686	12,686	76,111
材料費(ク)	R 4	192,626	192,625	192,625	192,625	192,625	192,625	1,155,751
	R 2	158,361	158,365	158,365	158,365	158,365	158,365	950,186
	増減	34,265	34,260	34,260	34,260	34,260	34,260	205,565
その他(ケ)	R 4	220,468	220,474	220,474	220,474	220,474	220,474	1,322,838
	R 2	205,242	205,237	205,237	205,237	205,237	205,237	1,231,427
	増減	15,226	15,237	15,237	15,237	15,237	15,237	91,411
その他の費用(コ)	R 4	59,859	59,854	59,854	59,854	59,854	59,854	359,129
	R 2	71,891	71,892	71,892	71,892	71,892	71,892	431,351
	増減	▲12,032	▲12,038	▲12,038	▲12,038	▲12,038	▲12,038	▲72,222

差引収支(A-B)	R 4	▲132,923	▲137,637	125,219	▲119,897	▲91,755	▲143,346	▲500,339
	R 2	▲202,088	▲205,933	▲199,912	▲143,550	▲115,615	▲95,750	▲962,848
	増減	69,165	68,296	325,131	23,653	23,860	▲47,596	▲462,509

(前提条件)

- 収益は、実際の収入を計上している。
- 費用は、執行が年度末に偏る傾向があるため、令和4年度は予算額を、令和2年度は決算額をそれぞれ1/2分割で計上している。(全て税抜)そのため、他の公表している資料(告示資料等)とは数字が異なる場合がある。
- 改善目標額3.55億円は、令和2年度を基準年としているため比較年度を令和2年度としている。

1 上半期の経営状況について

(1) 業務量の状況

- ア 入院患者数については、令和2年度と比較すると、延患者数で2,270人、一日平均患者数で12.4人増加している。
- イ 外来患者数については、延患者数で70人、一日平均患者数で5.6人減少している。
- ウ 診療単価については、入院で3,651円増の59,563円、外来で2,074円増の15,966円となっている。

(2) 経理の状況

- ア 入院収益、外来収益ともに診療単価の増加により、令和2年度と比較すると大きく増加している。
- イ その他医業収益(エ)の347,311千円の増加については、新型コロナウイルス感染症対応に係る休床・空床補償等(約320,000千円)である。
- ウ 以上の結果、収益全体において763,374千円の増加となっており、収支差額は462,509千円の増加となっている。

2 検証及び評価

- (1) 改善目標額3.55億円の達成については、令和2年度同期と比較して、+462,509千円を確保しているものの9月は▲47,596千円となり、単月で大きな減となった。
- (2) 入院患者数は令和2年度に比べ途中マイナスの月もあったものの上半期としては+2,270人となった。外来患者数は、令和2年度に比べ、マイナスの月が多く上半期としては▲70人となった。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対応に係る休床・空床補償は、上半期概算分として約320,000千円を計上している。入院・外来共に、診療単価は上昇しており、公立病院として新型コロナウイルス感染症の患者の積極的な受入や令和4年度診療報酬改定への取組によるものと考えられる。
外来患者数は、令和2年度を下回ることも多く低調である。(目標患者数、650人/日)

3 懸念材料について

- (1) 当院は、例年、冬季に入院・外来患者数が大きく増加する傾向にあるが、全国的にコロナ禍以前とは受診動態が変化し減少傾向の中、9月は令和2年度を下回り、10月も同様である。この傾向が今後も続くのならば下半期も患者数が確保できない可能性がある。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対応に係る休床・空床補償の補助金は、上半期と同水準であると想定した場合、年間で776,172千円となる。しかし、下半期の要件が厳しくなったことから上半期分比べて補助金額が減少する可能性が高い。
参考 コロナ病床を開設せずに一般病床としていた場合の予想収益
 $59,049 \text{円} (R3 \text{ 決算単価}) \times 53 \text{床} \times 66.7\% (R3 \text{ 決算病床利用率}) \times 365 \text{日} = 761,916 \text{千円}$
- (3) 光熱費の上昇のため、75,000千円(税込)を9月補正予算で計上しているが、更に増加する恐れがある。(上半期分には計上せず、10月以降で計上。)

4 今後の対応方針について

(1) 救急応需率の向上による集患強化

- ・ 応需率90%以上かつ年2,000台以上の救急車の受入れ
- ・ 頭部外傷が疑われる整形外傷等の速やかな受入れ
- ・ 脳血管疾患が疑われる場合の速やかな受入れ

(2) 診療報酬制度の理解の深化及び最適化による収益力向上

- ・ 看護補助加算の維持確保
- ・ 地域包括ケア病棟の維持確保

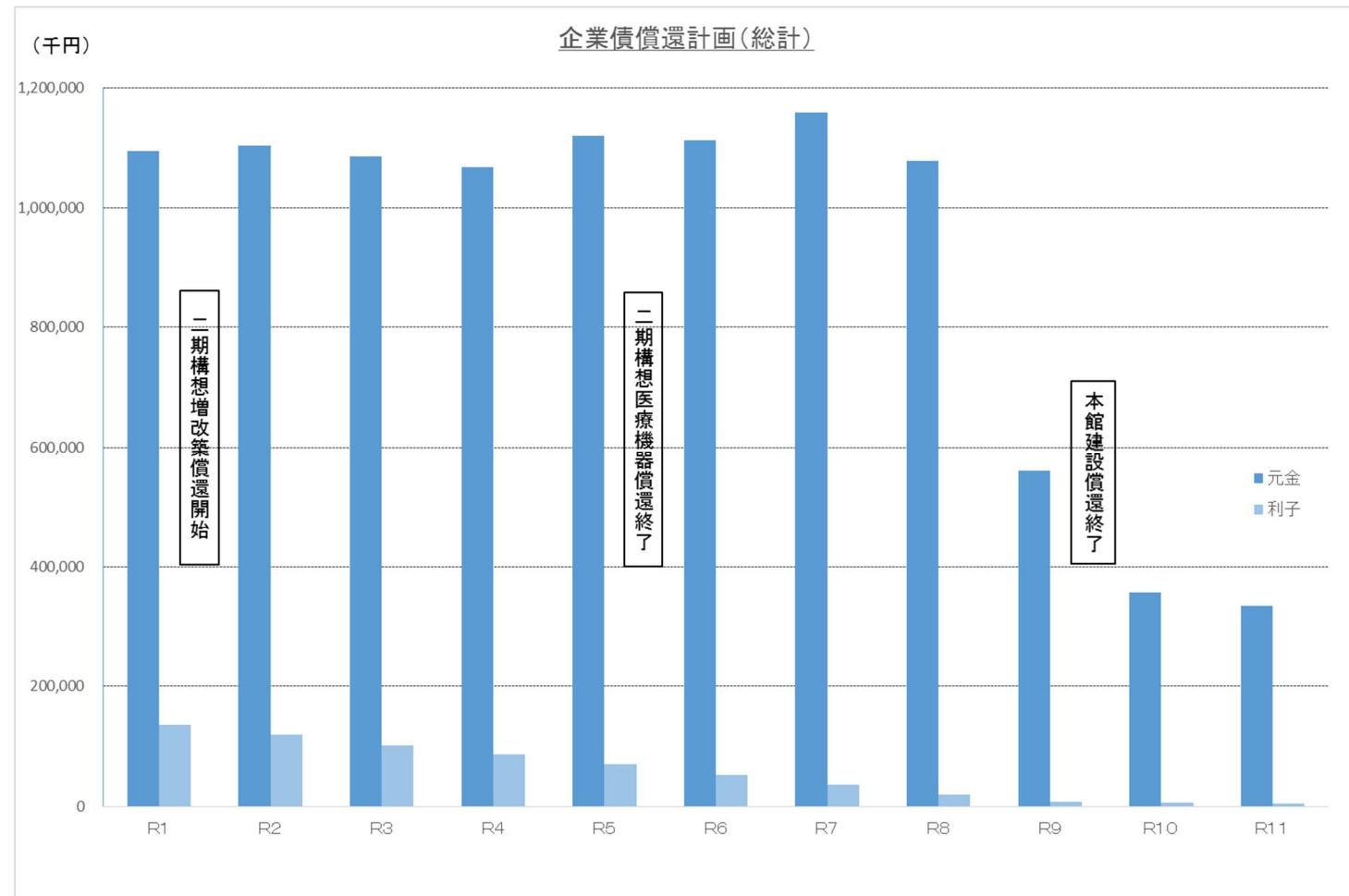
(3) 診療提供体制の回復に向けた対応の強化

- ・ 常勤医確保に向けた派遣大学への要請を基本としつつも、状況によってはそれに拘ることなく関連大学への働きかけ等柔軟な取組
- ・ 兵庫県養成医の確保に向けた県への働きかけ

【参考】

1. 起債償還の推移について

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
元金	1,094,615	1,104,292	1,085,614	1,068,355	1,119,986	1,113,219	1,158,936	1,078,532	559,783	357,003	334,920
利子	136,069	119,277	102,256	85,944	69,523	52,912	36,314	20,103	7,887	5,488	4,765
合計	1,230,684	1,223,569	1,187,870	1,154,299	1,189,509	1,166,131	1,195,250	1,098,635	567,670	362,491	339,685



2. 市の財政状況について

現時点において、現在の行政サービスの水準を維持したまま、令和5年度以降も同規模の財政支援を行っていくと仮定した場合、令和7年度には財政調整基金の残高がなくなり、予算編成に支障を来すことが見込まれる。(令和4年第1回定例会 市長答弁要旨)

3. 収支シミュレーションの比較について

1. 改善対策反映前(赤穂市民病院経営検討委員会資料)

(単位:百万円)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
単年度損益	▲1,035	▲137	▲1,189	▲1,179	▲1,153	▲1,102	▲1,115	▲1,104	▲1,128	▲1,148	▲1,169
資本金	7,612	8,260	8,919	9,582	10,275	10,996	11,692	12,050	12,260	12,450	12,593
累積欠損金	▲6,775	▲6,912	▲8,101	▲9,280	▲10,433	▲11,535	▲12,650	▲13,754	▲14,882	▲16,030	▲17,199
【資本金-累積欠損金】	837	1,348	818	302	▲158	▲539	▲958	▲1,704	▲2,622	▲3,580	▲4,606
一時借入金①	2,000	1,600	2,500	3,300	4,300	5,200	6,100	6,700	7,400	7,900	8,500
地財法											
資金不足額	847	530	1,430	2,315	3,233	4,172	5,121	5,834	6,474	7,095	7,668
資金不足比率②	11.2%	6.2%	19.1%	30.9%	43.2%	55.8%	68.5%	77.9%	86.6%	94.9%	102.5%
健全化法											
資金不足比率③	▲20.2%	▲25.1%	▲20.4%	▲12.6%	▲4.6%	3.7%	13.5%	23.6%	34.7%	45.5%	55.7%
起債償還額	1,255	1,194	1,103	1,105	1,159	1,218	1,212	652	419	381	285
【起債償還額の1/2】	628	597	551	552	580	609	606	326	210	190	142

2. 1に改善対策反映(赤穂市民病院経営検討委員会資料)

(単位:百万円)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
単年度損益	▲1,035	▲137	▲855	▲765	▲647	▲586	▲529	▲503	▲526	▲546	▲566
資本金	7,612	8,260	8,919	9,582	10,275	10,996	11,654	11,975	12,147	12,300	12,443
累積欠損金	▲6,775	▲6,912	▲7,768	▲8,532	▲9,180	▲9,766	▲10,294	▲10,797	▲11,324	▲11,870	▲12,436
【資本金-累積欠損金】	837	1,348	1,151	1,050	1,095	1,230	1,360	1,178	823	430	7
一時借入金①	2,000	1,600	1,596	2,038	2,419	2,811	3,207	3,341	3,397	3,433	3,457
地財法											
資金不足額	847	530	1,046	1,467	1,829	2,202	2,579	2,706	2,759	2,792	2,815
資金不足比率②	11.2%	6.2%	13.8%	19.4%	24.2%	29.3%	34.4%	36.0%	36.8%	37.2%	37.5%
健全化法											
資金不足比率③	▲20.2%	▲25.1%	▲25.2%	▲23.7%	▲23.2%	▲22.6%	▲20.4%	▲18.1%	▲14.9%	▲12.0%	▲9.2%
起債償還額	1,255	1,194	1,103	1,105	1,159	1,218	1,137	577	344	306	285
【起債償還額の1/2】	628	597	551	552	580	609	568	289	172	153	142

3. 2に令和3年度決算を反映

(単位:百万円)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
単年度損益	▲1,035	479	▲847	▲756	▲639	▲578	▲520	▲494	▲518	▲538	▲558
資本金	7,612	8,260	8,919	9,582	10,275	10,996	11,654	11,975	12,147	12,300	12,443
累積欠損金	▲6,775	▲6,297	▲7,143	▲7,899	▲8,538	▲9,116	▲9,636	▲10,130	▲10,648	▲11,185	▲11,743
【資本金-累積欠損金】	837	1,963	1,776	1,683	1,737	1,880	2,018	1,845	1,499	1,115	700
一時借入金①	2,000	1,000	879	1,319	1,697	2,087	2,480	2,612	2,666	2,700	2,722
地財法											
資金不足額	847	▲86	429	847	1,207	1,578	1,953	2,078	2,128	2,159	2,180
資金不足比率②	11.2%	▲1.1%	5.7%	11.2%	16.0%	21.0%	26.0%	27.6%	28.4%	28.8%	29.0%
健全化法											
資金不足比率③	▲20.2%	▲30.0%	▲33.4%	▲31.8%	▲31.4%	▲30.9%	▲28.8%	▲26.5%	▲23.3%	▲20.4%	▲17.7%
起債償還額	1,255	1,194	1,103	1,105	1,159	1,218	1,137	577	344	306	285
【起債償還額の1/2】	628	597	551	552	580	609	568	289	172	153	142

4. 仮に3に毎年2.9億円の一般会計からの補助があった場合

(単位:百万円)

項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
単年度損益	▲1,035	479	▲556	▲464	▲346	▲284	▲226	▲199	▲222	▲241	▲260
資本金	7,612	8,260	8,919	9,582	10,275	10,996	11,654	11,975	12,147	12,300	12,443
累積欠損金	▲6,775	▲6,297	▲6,852	▲7,317	▲7,663	▲7,947	▲8,172	▲8,371	▲8,593	▲8,834	▲9,094
【資本金-累積欠損金】	837	1,963	2,067	2,265	2,612	3,049	3,482	3,604	3,554	3,466	3,349
一時借入金①	2,000	1,000	588	736	822	918	1,017	854	612	348	73
地財法											
資金不足額	847	▲86	138	265	332	410	490	319	74	▲192	▲470
資金不足比率②	11.2%	▲1.1%	1.8%	3.5%	4.4%	5.5%	6.5%	4.2%	1.0%	▲2.6%	▲6.3%
健全化法											
資金不足比率③	▲20.2%	▲30.0%	▲37.2%	▲39.5%	▲43.0%	▲46.5%	▲48.3%	▲49.9%	▲50.7%	▲51.8%	▲53.0%
起債償還額	1,255	1,194	1,103	1,105	1,159	1,218	1,137	577	344	306	285
【起債償還額の1/2】	628	597	551	552	580	609	568	289	172	153	142

※①30億円 → 一時借入金の限度額